

茶器の片付け

日本茶インストラクター協会静岡県支部

イベントや講座の終了後でお疲れのこととは思いますが、片付けまでが仕事と考えて現場のスタッフで協力して行なってください。

茶器を長持ちさせるため、また次の人が気持ちよく使えるためにご協力をお願いいたします。

1. 湯のみ 洗って布巾でふく しばらく乾かしてからしまう

2. 急須 水洗いのあと湯通しをする

湯通し：急須のふちいっぱい熱湯を入れ、急須ブラシでこする

(ふちの内側、注ぎ口の網を特に丁寧に急須ブラシでこする)

湯をこぼして(お茶の粉がのこっている時はお湯ですらにすすぐ)

布巾で水気をとる(内側も)しばらく乾かしてからしまう

*帯網急須は網はずれやすいので強くこすったりふいたりしないで、おさえるようにふく

『しまい方』

・ 箱のふたの内側に入れ方が書いてありますのでそれに従ってください。

3. さまし 水洗いのあと熱湯でゆすぎ水気をふく しばらく乾かしてからしまう

4. ポット (残った湯を急須の湯通しに使うと便利です)

湯をこぼしてよく水気を切りかわかす

1リットルポットのふたは布巾にたたくようにして水気を取る

3リットルポットのふたははずして振って水気を切りふく

1リットルポット3リットルポットとも、外側をぬれた布でふく

5. お盆 かたくしぼった布巾でふく

6. 茶托 からぶきをする(汚れがあったらぬれ布巾でふきそのあとからぶき)

7. スプーン からぶきをする(汚れがあったらぬれ布巾でふきそのあとからぶき)

8. 茶缶 お茶の粉をブラシでよくとる

9. 拝見盆 お茶の粉をブラシでよくとる

10. エプロン ポケットの中を確認し、たたむ

11. クロス 汚れているところがないかチェックする

*エプロン・クロスで洗濯が必要なものは別にして事務所に伝えてください。

開ける時に入っている状態を見ておいてください。

(2008年8月)